

みつくら

平成31年 3月15日 第286号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

生産森林組合と分取造林組合が総会

大瀬川生産森林組合と大瀬川分取造林組合（いずれも菅原清昇組合長）の通常総会は、2月24日に22名が出席（他に92名が委任状）して開かれた。総会は、大瀬川生産森林組合が終了した後、15分休憩し続けて行われた。

大瀬川生産森林組合の総会では「先日、北上市の巨木の会から百年不拔の森について問い合わせがあり、先輩達の想いを伝えました」と菅原組合長の挨拶があった。

百年不伐の森とは、平成16年に大瀬川生産森林組合が黒森山の植林を「百年不伐の森」に制定したものである。

その由来は、昭和年代は木材価格も高く、植林にも励みがあったが、その後輸入材の影響で木材価格は低迷し、山林経営は窮していた。大瀬川生産森林組合では、役員達で平成15年の夏に現地（黒森山）の植林を見てまわった時に、「普通の木材で売ったのでは安すぎるので、百年以上の特殊木材として育てたらどうか」との話になり、翌年の平成16年2月の総会で「百年不拔の森」を制定し、同年12月に「百年不拔の森」の標柱を設置したことによる。

この「百年不拔の森」を植林したのは昭和40年であることから平成31年現在で54年目となる。

雪の少ない年でも太かったたろし滝

みつくら3月1日号に5, 5mの「たろし滝測定会」が掲載されたが、15日号ではその他の話題を載せる。

2月11日の測定会に振る舞った「ひつつみ」づくりは、地区のボランティアの方々が2日前に買い出し、前日には仕込み、当日は8時半から20名の方々が準備して、現地を訪れた人達におもてなしをした。また甘酒に使った酒粕は、今年も菅原榮一さんから提供されたもので、いずれも美味しく頂いた。交通誘導では、安協大瀬川分会の方々7名、音響は板垣公さんが担当するなど、多くの方々が測定会に協力した。

今年の川柳は、板垣寛大瀬川たろし滝測定保存会会長が「新元号 期待ふくらむ この眺め」、上田東一花巻市長

は「葛丸の たろしぞ強く 稔る秋」、佐々木順一県議会議長は「外圧に 負けてたまるか 御柱」、達増拓也県知事は「氷柱の 示す未来は 幸多し」とそれぞれの句が披露された。

今年は45回目の測定会であったが、初めて県内全部のテレビ局（5局）が取材し（過去で取材が最も多かったのは平成24年の4局）当日の夕方から翌日の朝（2度目も含めて）にかけて放映された。特にフジテレビでは2回にわたって全国放映、またNHKでは仙台からも東北6県へ放映された。

めがせ減塩・レモンで美味しく健康づくり

去る、2月21日に大瀬川改善センターで、大瀬川地区食生活改善推進員（幹事板垣成子さん 他8名）が料理講習会を行い、20名が参加した。

今回のテーマは、「いつもの食事を減塩に！酢を使ったテクニック」として、最初に花巻市健康づくり課保健士の押切さんから「以前では一日の塩分摂取量は10グラムだったが、最近では7グラムに抑えるように心がけながら、色んな工夫で減塩が出来るので、この講習会で実感して頂きたい。また、持参された味噌汁はまずまずの塩分濃度だったので、今後も継続してほしい。」と講話があった。また、推進員からは「家に帰って是非調理してください」と減塩レシピが配られた。

その後は料理講習する方と、自分の健康状態のあれこれを押切さんに相談する方に分かれた。11時過ぎには調理が終わり、全員揃って「いただきます」の合図で、レモンを使った料理をじっくりと味わった。特に鶏肉のから揚げは、調理する人からも、これだけで味が付くか半信半疑だったと感想があったが、美味しくできた。この地区でも脳の疾患で倒れる人が多いので、この機会にぜひ献立には減塩を意識したいものだ。

AEDの講習会が開催される

8区自主防災会（熊谷賢良会長）では、2月10日軽スポーツ大会の前に20名が参加して、花巻消防署北分署の八重樫・佐藤両氏の指導のもとに、心肺蘇生法とAEDの体験を行った。

八重樫氏から、「このような訓練は繰り返すことが大切であり、多くの方に体験してほしい。」とあった。

たんぼぼの会が美味しい雑まつり

3月3日に9区ボランティアグループのたんぼぼの会（菅原千恵子会長）では、9区自治公民館に65才から92才までの26名が参加して雑まつりを開催した。

この日は風も無く、快晴の本格的な春を思わせる良い天気、公民館まで歩いて参加した方も多かった。

会場に入ると、まずテーブルに置かれたカラフルな折紙で作った大きな花が目飛び込んだ。これは、参加できなかった熊谷ルイ子さん（中田竜）が全員分を作って届けた花だった。

菅原会長の挨拶の後に、来年度の会長に決まった熊谷幸子さんが来年の3月までの事業予定を話された。その後、全員で「うれしいひな祭り」を歌い会食となった。

テーブルには、会員手作りの料理のほか、特大のノリ巻きも加わり、所狭しと並べられてどれから食べようか迷った。おしゃべりや食べたり飲んだり楽しい時間を過ごして、お腹も心も一杯になり、12時半ごろには帰途についた。

千恵子さんに、こんなにおもてなしをしてお金は大丈夫かとたずねると、「手作りの物を持ち寄るので間に合っている」と聞いて安心した。

ワークショップの世話係養成講座を開催

新年早々の1月10日に、生涯学習・生涯スポーツ推進委員会（畠山勝敏委員長）が、地域おこし協力隊の佐藤敦さんを講師に、ファシリテーター養成講座を大瀬川振興センターで行ない、10名が参加した。ファシリテーターは目的を達成できるよう中立的な立場で良い会議へ導く役割を担う人。ワークショップを開催するには欠かせない役割であるので、みんな熱心に受講した。講師からは、去年の2月に市の主催で3回にわたってワークショップが開催され、提案されたライトアップが実現した事、他の地区では見られない若い世代の参加が多かったことがこの地区の特徴として挙げられた。

佐藤敦さんは動画サイトに「いしどりやチャンネル」を立ち上げて113本もの動画をアップしている。残念ながら1月末で退任されたが、最後の仕事がこの養成講座になった。

大瀬川としても色々とお世話になった佐藤さんの今後の活躍に期待したい。

薬師堂川法面崩落復旧工事が着工

平成30年4月に発生した、菅原榮一さん宅入り口付近の薬師堂川の法面崩落は、約1年を経てようやく2月15日に復旧工事に着工した。

崩落した距離は約20m、工事費が972万円で3月末に完了する予定。関係者の話によると、薬師堂川の法面工事ではなく、市道旧大瀬川1号線の法面工事との事でブロックを5段積み上げる。

道路に雪が無い冬

大瀬川では、平成21年には1月15日までは積雪がなかった事があったそうだ。また、昭和48年頃（はっきりしないそうだが）にも、1月中は雪が無く2月初めに大雪となったという話を聞いた。

今冬は、平成31年1月17日に7cmの積雪となり、市では今年度1回目の除雪をしたが、除雪しない場所でも翌日までは全部溶けていた。1ヶ月後の2月12日には8cmの積雪となり、市では2回目の除雪を行ったがこれもたいしたことなかった。たんぼの稲株も2回の積雪の時以外は常に表れている状態で、そのまま春を迎えることとなった。

今後いつかまたこのような事が起こったなら、このみつくらの記事のみて「あの年もそうだったのか」と思い出す事でしょう。

みつくら

平成31年 3月15日 第286号
 発行 大瀬川活性化会議
 編集 「みつくら」編集委員会
 花巻市石鳥谷町大瀬川10-45-2
 大瀬川振興センター 電話45-6472

“お〜い!集まろう!創ろう!みんなの大瀬川!”

5ヶ所の保育園で大瀬川の紙芝居

板垣公さんや熊谷るり子さん達が活躍している花巻市青少年育成市民会議（市川浜会長）主催の「平成30年度読み聞かせ会」は、去る2月20日と21日の2日間にわたって石鳥谷保育園、八幡保育園、八重畑保育園、新堀保育園、石鳥谷善隣館保育園の5ヶ所で開かれ、大瀬川の紙芝居を披露した。

披露した紙芝居は「獵師を助けた猫」で、必要以上の狩りをした獵師に化け物達が復讐するが、獵師を助けた娘は猫が化身したものだだったという紙芝居。披露したのは「おはなしぼけつ」の山鼻昭子さん、関俊子さん達であった。市民会議からは、市川浜さん、鎌田幸也さん、瀬川義光さんも参加。この紙芝居の絵を描いたのは鎌田愛子さんで20作品あるが、鎌田幸也さんは「妻が描いた紙芝居を初めて観た」と感心していたという。

山鼻さんは、大瀬川の方言が出る度に園児からきゃーきゃーと歓声が上がっていたと話していた。

7区ふれあい昼食会が開かれる

去る2月16日にボランティアグループ「くずまの花」（菅原静江代表）主催の「ふれあい昼食会」が7区自治公民館で開催された。

午前11時に23名が集まり、「くずまの花」の皆さんが作ったけんちん汁と折り詰めを頂きながら、和やかな昼食会となった。近年、洋式の生活に慣れたため「板間に座布団では長居はできねえ」と言いつつも、午後2時過ぎまで（笑）四方山話に花をさかせたひとときとなった。

冬の軽スポーツ大会を開催

去る2月10日8区自治公民館（熊谷賢良館長）主催の軽スポーツ大会が、大瀬川振興センターを会場に24名が参加して輪投げとデスゲッターの競技を行った。

成績は、輪投げの部の優勝は菅原昭悦さん、2位は板垣光善さん、3位は板垣邦博さんで、デスゲッターの部の優

勝は菅原昭悦さん、2位は熊谷浪子さん、3位は菅原浩孝さんとなった。参加者全員に参加賞が配られ心地よい汗の出た休日となった。

この軽スポーツ大会は、夏と冬の2回行われており、8区のコミュニケーションの場となっている。

山祇神社で紀元祭

「たろし滝測定会」が行われた2月11日の午後から山祇神社では、紀元祭（春祈祷）が行われた。

今年は、雪もなく穏やかな中、直町宮司のご祈祷に20名の氏子が集まり祈願をした。また、朝から集められた正月飾りやお札、破魔矢などを焼き無病息災などを祈りながら年神様を送る「どんと焼き」も同時に執り行った。直会には菅原清昇相談役が乾杯を行い、たろし滝測定の話などが出た。

「葛丸の農村・」が上新田堰にU字溝

葛丸の農村環境を守る会（板垣幸夫会長、構成員220名）では、2月末に上新田堰第2工区U字溝布設工事が完工した。

この工事は、平成29年度に第1工区として石鳥谷ふれあい運動公園から東側へ83mを施工、今年度はその続きから照井壮太郎さん宅までの75mにU字溝を据え付けた。

冬季7区自主防災活動

去る1月14日に7区自主防災会（辻村 睦会長）では、役員主催の自主防災会議を22名が参加して行った。会議では、7区の水質検査の結果報告や今後の活動と対策、昨年10月の合同訓練の反省と問題点が協議された。その結果、訓練時や災害時に必要な安全ベストとヘルメット6セットの購入を決めた。また、今年から大瀬川自主防災会連絡協議会より防災用テントが各区に貸し出される事を報告して終了した。

田中大排水再崩落修理が完了

平成30年5月に田中大排水路が再崩落した復旧工事は、葛丸の農村環境を守る会の事業で行っていたが、今年2月20日に完工となった。この田中大排水は、昨年5月18日の大雨で再崩落し、地権者は田植えが出来ない事態となっていた。

営農ビジョン検討部会が行われる

大瀬川基盤整備事業推進委員会（菅原教雄委員長）では、この基盤整備事業を推進していく過程で、今後の営農ビジョンを策定することが求められている。そのため各区の農家組合で作られている営農ビジョンを基礎に大瀬川全体の営農ビジョンを作成した。

営農ビジョン検討部会は昨年の12月に立上げ、熊谷俊彦さん（9区）を部会長として、7区からは畠山一男さん、菅原晃浩さん、辻村吏さん、8区からは板垣光彦さん、熊谷郁子さん、板垣博文さん、熊谷和紀さん、9区からは高橋英善さん、熊谷記彦さんの10名で4回のワークショップを開催した。

1回目は参加者への趣旨説明と自己紹介やこれからの大瀬川を話し合い、2回目は大瀬川地域の農業の強みや弱み、将来への夢や不安を書き出し、3回目は前回の話題から将来ありたい姿や克服しなければならないことを書き出し、4回目は前回話し合った内容の確認と総体的に意見交換を行い検討を終了した。

今後は検討結果を項目毎にまとめ、推進委員会にて協議し営農ビジョンを充実することとしている。

岩銀石鳥谷支店で板垣さんの写真展

板垣弘清さんの写真展「早春の宴（瞬間のストーリー）」が3月1日から29日まで開かれている。展示されている写真は12点で、第68回県芸術祭部門賞の「闇魂」、第69回同芸術祭賞の「イーハトーブの夜明け」、第70回同入選作の「イーハトーブの銀河」を含め、数多く入賞している作品を展示している。特に、大瀬川に関する作品では「たろし滝夜景」で、今年2月の真夜中に、たろし滝の根元から満天の星空を写した写真が印象的であった。鑑賞を奨めたい。

訃 報

菅原塗装所の菅原ハナさんは、2月9日に83歳で亡くなりました。菅原さんは紫波町片寄の出身で、長い間大瀬川公民館や大瀬川振興センターの管理人として御世話になった方でした。大瀬川公民館最初の管理人は義母のノブさんで、昭和25年2月の大瀬川公民館設立から病に侵された昭和61年3月までつとめられました。ノブさんは、ご主人の実家である菅原斎さん（初代公民館長）からの依頼で引き受けたと『大瀬川公民館大会の記録に』残っています。

菅原ハナさんは、その後昭和61年4月から平成23年3月まで実に26年間も私達が管理人として御世話になったのでした。その功績で石鳥谷町自治公民館連絡協議会長から表彰されておられます。朝、公民館に行ってみると「ちゃんとお片づけないので酔っ払いは好きでねえ」とこぼしていた菅原さんを思い出し、たくさんの迷惑をおかけいたしました。

大瀬川婦人消防協力隊長や大瀬川婦人協議会副会長などでも地域で活躍されました菅原さんに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

事務室 お気軽ににお入り下さい

昨年の秋、大瀬川振興センター前の銀杏の木をライトアップした記事を書いていたことはご存じかな。この時、来年の春には大瀬川の標準木（29年に活性化会議会長に申請）となっている桜にもライトアップしては・・・との案が出ていた。桜の木は、下からライトアップすると浮き上がって綺麗に見えるので、是非ともお願いしたい。そして、西和賀町の雪明かりが各家々で灯しているみたいに、この地区でも、桜の開花時期に合わせ、各家々でライトアップを考えてみてはいかがなものかと思う。